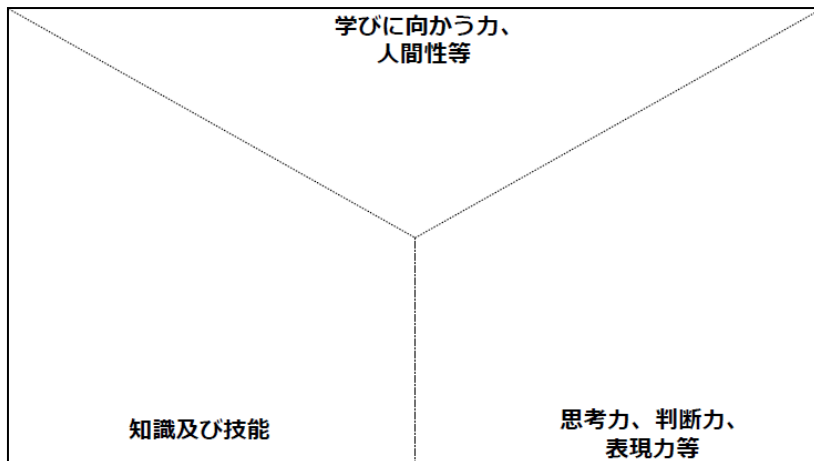


研修プランB 1 2

実践を紹介し合い、全校で育成を目指す資質・能力を考える

- 目的 自分たちの実践を紹介し合い、次年度育んでいきたい資質・能力について全教員で考えていく研修会です。
- 対象 校内
- 時間 65分
- 形態 全体→グループ→全体→個人
※グループの分け方：職層を混ぜた4人グループ
- 準備物 自己の実践を紹介できる具体物（児童・生徒のノートや成果物等）
 グループ協議で使用する模造紙（グループ数）、振り返りで使用する模造紙（1枚）



- 付箋（7.5cm×5cm 3色：水色・ピンク色、黄緑色 人数分×各10枚くらい）
- フェルトペン（グループ数×3色程度）

●研修前

- 自己の実践の発表について
 - ・実践内容が分かる具体物を用意する。 *スライド④を使ってイメージを共有する。

児童・生徒のノート、ワークシート、作品
児童・生徒たちが話し合っている様子の写真
児童・生徒たちがまとめたホワイトボード
板書、掲示物の写真
実際の学習指導案
教科書 等

- ・当日の発表は1人3分程度にするため、予め発表の内容を考えておくようにする。
- グルーピングについて
 - ・職層、学年をバランスよく分ける。
- 役割分担について
 - ・グループごとの役割分担を事前に周知する。

○研修会について

・研修会の概要については年間の研修計画に位置付ける。詳細については、研修会の2週間前を目途に紙面及び口頭にて全体に周知する。

●研修

流れ	進め方	留意点等	スライド番号
1 流れの確認 【全体】（3分）	○研修の目的と内容について確認する。	○目的は上記「■目的」参照 ○流れは左欄「流れ」参照 ○確認事項 ・今年度、育まれた資質・能力 ・発表の時間の確認、発表の仕方	1 2
2 実践の発表 【グループ】（20分）	○グループごとに自己の実践について発表する。	○発表者は、実践の概要とともに児童・生徒がどのように学んでいたかについて発表する。 ○聞き手は実践から児童・生徒に育まれていると思われる資質・能力、今後育んでいきたい資質・能力を付箋に記述する。 育まれていると思われる資質・能力 →水色の付箋 今後、一層育んでいきたい資質・能力 →ピンク色の付箋	3 4
3 グループ協議 【グループ】（15分）	○グループで付箋を分類する。	○付箋を模造紙に貼り、分類しながら次年度育んでいきたい児童・生徒の資質・能力を考える。	5
4 グループ発表 【全体】（15分）	○協議内容を発表する。	○グループごとに協議内容を踏まえ、次年度に育んでいきたい資質・能力を発表する。	6
5 まとめ 【全体】（2分）	○グループ発表をもとにしながら、次年度育んでいきたい資質・能力を整理する。	○進行役は、各グループの発表内容を聞き、全体で共通している内容をまとめ、全体で共有する。	7
6 省察 【個人】（10分）	○本日の研修会について振り返る。	○まとめで出た資質・能力を育成していくために、今後取り組んでいけそうなことは何かを振り返り、グループで共有する。	8

●研修後

○協議した成果物等は職員室等、全員が確認できる場所に掲示し、協議内容を常に振り返ることができるようにする。

○研修会の協議内容を基に、研究主任等が年度内に、次年度に付けたい資質・能力を決定する。

○決定までの経過をまとめ、後日、全体で共有し、次年度の方向性を明らかにする。